

# 第13回

## 地域発「活力・発展・安心」デザイン実践交流会

2021年 2月27日(土)10:00~ (定員:60名程度)

会場:国東市「梅園の里」(三浦梅園 生誕の地) 国東市安岐町富清2244

テーマ:「地域と学校が協働して子どもを育てる仕組みづくりを語ろう  
～地域学校協働本部とコミュニティ・スクールの  
一体的な取り組みを目指して～」

### プログラム

#### ■10:00 開会行事

#### ■10:20～12:20 第1部 地域での実践活動の発表

- ①国東市(萱島 かよ氏) \* 国東市協育ネットワーク事業を支えるコーディネーターの役割
- ②別府市(縄田 早苗氏) \* 地域学校協働本部統括コーディネーター制度
- ③玖珠町(梅木 洋一氏) \* 玖珠町立くす星翔中学校学校運営協議会の活動
- ④中津市(山本 健吾氏) \* 地域学校協働本部とコミュニティ・スクールの協働の仕組み

【助言者】井上尚子 特別講演講師

#### ■13:10～16:20 第2部 地域と学校が協働して子どもを育てる仕組みづくりを考える

##### ≪1≫13:10～14:30 基調報告

＜報告者＞ NPO法人大分県協育アドバイザーネット 中川 忠宣 理事長

テーマ: <大分県版>学校と地域の新たな協働(協育)Q(課題・質問) & A(アドバイス)  
～市町村アンケートから見る学校運営協議会制度と地域学校協働本部の体制整備～  
※大分県版のQ & A資料はNPO法人大分県協育アドバイザーネットのHPに掲載しています

##### ≪2≫14:50～16:20 特別講演

＜講師＞ 井上 尚子 氏

文科省委嘱 CSマイスター

特定非営利活動法人スクール・アドバイス・ネットワーク 事務局長

テーマ: 地域学校協働本部とコミュニティ・スクールの一体的な取り組みを目指して  
～文部科学省と共に全国の取組を支援して～

#### ■16:20～閉会行事

※ご挨拶とアンケートのお願いをさせていただきます。

### ☆☆参加者へのお願い<新型コロナの対策についてのご協力をお願いします>☆☆

- \* 「密」にならない会場設営をするために申込みは早めをお願いします。
- \* マスクの着用 \* 受付での検温と消毒 \* 間隔をとった座席指定

#### 申込方法

○申込みフォーム <https://www.he.oita-u.ac.jp/13design/>からお申し込みください。

右記QRコードからもアクセスできます。

○電子メール、郵送、FAXでの申込みも可能です。別紙「参加申込書\*」をご参照ください。

\*参加申込書は、要項と併せてホームページに掲載しています。

○令和3年2月17日(水)までにお申し込みください。

※宿泊希望者は令和3年2月10日(水)必着で、必ず事前申込みをお願いします。

詳細(広報): 「大分大学高等教育開発センター」 <https://www.he.oita-u.ac.jp/>

「NPO法人大分県協育アドバイザーネット」 <https://kyouikunet.sakura.ne.jp/>

#### 問い合わせ・申込み先

〒870-1192 大分市大字旦野原700番地 大分大学学生支援部教育支援課

TEL/097-554-7641 FAX/097-554-6177 メール/kyokikss@oita-u.ac.jp

主催 NPO法人大分県協育アドバイザーネット/東国東地域デザイン会議/大分大学高等教育開発センター

# 活力

# 発展

# 安心

参加費無料

昼食・宿泊費等は別途必要です。  
詳細は参加申込書をご参照ください。



<2021年(R3年)>

## 第13回 地域発『活力・発展・安心』デザイン実践交流会要項

本交流会は、「おおいた教育の日」の趣旨に賛同して、県教育委員会や県内のほとんどの市町村からの発表をいただきながら開催してきました。昨年度は新型コロナの関係で延期となり、今回が13回目となりました。近年、学校や家庭、地域における様々な取組みについて連携・協力が求められ、県内各地においても各種組織・団体が学校等で連携・協力した新しい取組みが行われています。特に、文部科学省及び県教育委員会においては、地域住民のネットワーク化による、地域と学校との協働を進めるシステムづくりのために、学校運営協議会制度(コミュニティ・スクール)<sup>※1</sup>の導入と、地域学校協働本部の整備による地域学校協働活動<sup>※2</sup>を促進しています。参加者が互いに交流することによって、こうした取組みの実践者自身が活動エネルギーを蓄えるために、本交流会を開催します。

運営委員長(東国東地域デザイン会議会長) 林 浩昭

※1、※2 裏面資料参照

テ ー マ 地域と学校が協働して子どもを育てる仕組みづくりを語ろう  
～地域学校協働本部とコミュニティ・スクールの一体的な取組みを目指して～

主 催 NPO法人大分県協育アドバイザーネット/東国東地域デザイン会議  
/大分大学高等教育開発センター

会 場 「梅園の里」(国東市安岐町富清2244)  
☆梅が咲き誇る三浦梅園生誕の地～「梅園の里」～☆

期 日 令和3年(2021年)2月27日(土)

日 程

### ■10:00 開会行事

### ■10:20～12:20 第1部 地域での実践活動の発表 ※各団体の活動概要は裏面をご参照ください

- ①国東市(萱島かよ) \*国東市協育ネットワーク事業を支えるコーディネーターの役割
- ②別府市(縄田早苗) \*地域学校協働本部統括コーディネーター制度
- ③玖珠町(梅木洋一) \*玖珠町立くす星翔中学校学校運営協議会の活動
- ④中津市(山本健吾) \*地域学校協働本部とコミュニティ・スクールの協働の仕組み

【助言者】井上尚子 特別講演講師

### ■13:10～16:20 第2部 地域と学校が協働して子どもを育てる仕組みづくりを考える

#### 《1》13:10～14:30 基調報告

<報告者> 中川 忠宣 NPO法人大分県協育アドバイザーネット理事長

テーマ:

《大分県版》学校と地域の新たな協働(協育)のQ(課題・質問)&A(アドバイス)  
～市町村アンケートから見る学校運営協議会制度と地域学校協働本部の体制整備～

#### 《2》14:50～16:20 特別講演

<講師> 井上 尚子 氏

文科省委嘱 CSマイスター

特定非営利活動法人スクール・アドバイス・ネットワーク 事務局長

テーマ: 地域学校協働本部とコミュニティ・スクールの一体的な取組みを目指して(仮題)  
～文部科学省と共に全国の取組を支援して～

### ■16:20～ 閉会行事

※ご挨拶とアンケートのお願いをさせていただきます。

参加者へのお願い<新型コロナの対策についてのご協力をお願いします>

\*「密」にならない会場設営をするために申込みは早めをお願いします。

\*マスクの着用 \*受付での検温と消毒 \*間隔をとった座席指定

申込方法 ○申込フォーム<https://www.he.oita-u.ac.jp/13design/>からお申し込みください。右記のQRコードからもアクセスできます。

○電子メール、郵送、FAXでのお申し込みも可能です。別紙「参加申込書」をご参照ください。

QRコードはデンソーウェーブの登録商標です

○令和3年2月17日(水)までにお申し込みください。

※宿泊希望者は令和3年2月10日(水)必着で、必ず事前申込みをお願いします。

参加費 無料 ※宿泊費等は別途必要です。必要費用は別紙「参加申込書」をご参照下さい。

詳細(広報) 「大分大学高等教育開発センター」<https://www.he.oita-u.ac.jp/>

「NPO法人大分県協育アドバイザーネット」<https://kyouikunet.sakura.ne.jp/>



QRコード

### 問い合わせ・申込み先

〒870-1192 大分市大字旦野原700番地 大分大学高等教育開発センター(学生支援部教育支援課公開講座担当)

TEL/097-554-7641 FAX/097-554-6177 MAIL/kyokikss@oita-u.ac.jp

## <文部科学省が推進する地域学校協働活動の一体的推進の意味>

### ※1 学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）

学校と保護者や地域住民が共に知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、一緒に協働しながら子供たちの豊かな成長を支え「地域とともにある学校づくり」への転換を進めるための仕組みです。平成29年3月の地方教育行政の組織及び運営に関する法律（地教法）の改正により、その設置が努力義務化され、大分県においてはすでに70%以上の公立小中学校で導入されています。成果を上げるためには地域学校協働本部との一体的な取組を目指します。

### ※2 地域学校協働活動

地域の高齢者、成人、学生、保護者、PTA、NPO、民間企業、団体・機関等の幅広い地域住民等の参画を得て、地域全体で子供たちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して行う様々な活動（学校支援、土曜日・放課後活動、まちづくり、地域活動、子供の学習支援、家庭教育支援活動等）を地域全体でネットワーク化を進める「地域学校協働本部」を整備する取組です。

平成29年3月の社会教育法の改正により法律に位置付けられ、教育委員会が地域学校協働活動の機会を提供する事業を実施する際には地域住民等と学校との連携協力体制の整備や、普及啓発活動などの措置を講じること、地域と学校をつなぐ「地域学校協働活動推進員」の委嘱ができることとする規定が設けられました。大分県においてはこれまでの公民館を中心として学校支援活動を行ってききましたが、その取組をさらに充実・整備するものです。

## <実践事例の概要>

### ① 国東市（萱島 かよ 協育コーディネーター）

テーマ：国東市協育ネットワーク事業を支えるコーディネーターの役割

国東市は、各中学校区に1名のコーディネーターを旧町ごとにある中央公民館（4館）に配置して「国東市協育ネットワーク事業」を推進している。主な活動である、地域住民による学校支援活動、社会力を育む青少年の体験活動支援、学校・地域が行う学力向上対策支援をとおして、次代を担う児童生徒の育成と、地域教育力の向上に取り組んでいる。今回は、日常のコーディネートやコミュニティ・スクールとの関わりについて発表していただきます。

### ② 別府市（縄田早苗 社会教育課長補佐兼社会教育主事）

テーマ：地域学校協働活動統括コーディネーター制度

別府市は平成19年度に文部科学省委託事業を受託して以来、早くから学校支援のためのコーディネーターの役割を担う職員を6公立公民館に配置して10年が経過しました。R2年度から、これまでの取組をさらに充実するためのモデル事業に取り組んでおり、現在は「統括コーディネーター」を1中学校に配置し、域内の各小中学校の地域コーディネーターと協力して地域学校協働活動を推進しています。今回は、地域と学校が協働する仕組みづくりについて発表していただきます。

### ③ 玖珠町（梅木洋一 学校運営協議会委員長）

テーマ：玖珠町立くす星翔中学校 学校運営協議会の活動

玖珠町は2020年（令和元年）に中学校7校が統合して玖珠町立くす星翔中学校が誕生しました。それまで各中学校に設置していた学校運営協議会も統合するために、中学校の合併に並行して新設されるくす星翔中学校の学校運営協議会の役割や活動について協議を進め、くす星翔中学校の誕生とともに、学校運営協議会の一定の権限と責任を認識して活動を進めており、そうした取組について発表していただきます。

### ④ 中津市（山本健吾 社会教育課 生涯学習推進室長）

テーマ：今津校区学校の地域学校協働本部とコミュニティ・スクールの協働の仕組み

中津市は2019年度に今津小・中学校に学校運営協議会制度を導入して、それまでに「いきいき今津まちづくり協議会」の「協育部会」で取り組まれてきた学校支援活動<協育ネットワーク>の取組と協働したコミュニティ・スクールの活動を始めました。今後はこの取組をモデルにして、全ての公立小中学校にコミュニティ・スクールを導入することとしており、今回は今津小・中学校のコミュニティ・スクールの取組と地域学校協働本部（今津校区学校応援団<協育ネットワーク>）の一体的な取組について発表していただきます。

# 参加申込書

○必要事項に記入及び○印をつけ、郵送またはFAXでお送りください。

○電子メールで申込みの場合は、以下の情報をメール文面に入力し送付してください。

申し込み日 ( 月 日 )		申込代表者 ( )		
氏名	所属団体・機関等		住所・連絡先 (電話等)	
午前 (事例発表)	昼食	午後① (基調報告)	午後② (特別講演)	宿泊 (夕食・朝食含む)
氏名	所属団体・機関等		住所・連絡先 (電話等)	
午前 (事例発表)	昼食	午後① (基調報告)	午後② (特別講演)	宿泊 (夕食・朝食含む)
氏名	所属団体・機関等		住所・連絡先 (電話等)	
午前 (事例発表)	昼食	午後① (基調報告)	午後② (特別講演)	宿泊 (夕食・朝食含む)
氏名	所属団体・機関等		住所・連絡先 (電話等)	
午前 (事例発表)	昼食	午後① (基調報告)	午後② (特別講演)	宿泊 (夕食・朝食含む)

※必要経費内訳 (予定) 交流会当日に受付にてお支払いください。

金額：昼食 (600円) / / 宿泊 (夕食・朝食含む) (8,000円)

申込方法 ○申込フォーム<https://www.he.oita-u.ac.jp/13design>

(大分大学高等教育開発センターHPへ掲載しています)

○電子メール、郵送、FAXでのお申し込みも可能です。

※FAX/097-554-6177 MAIL/kyokikss@oita-u.ac.jp

○令和3年2月17日(水)までにお申し込みください。

※宿泊希望者は令和3年2月10日(水)締め切り